

# 新しい滑川

## 滑川町が「非核平和都市宣言」を発表

No. 36

2016年2月13日発行：羽尾1871-1  
阿部方  
日本共産党  
滑川町支部  
TEL・fax0493-5  
7-2655  
hiroaki0218@o  
utlook.jp

声・要  
ご意見・お  
さん・だ  
さん・き  
ご意見な  
望みな  
望みな

**非核三原則（核兵器を持たず・作らず・持ち込ませず）を明記承していく」決意を示す**

議会で阿部議員が要求してきた「非核平和都市宣言」が昨年12月に告示され、1月の「広報」に発表されました。

さらに、この中に「非核三原則」の文言の中身である「核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず」が入りました。

今、安倍政権による「戦争する国づくり」（安保法制・戦争法の強行）が進められ、北朝鮮による核実験が行われるなど、核兵器の開発競争が進められています。安倍政権は、被爆国・日本の「国是」ともいえるこの「非核三原則」を骨抜きにする国会答弁を行ってきています。

このような中で町が「非核平和

都市宣言」を行い、「非核三原則」を明記したことは画期的で大きな意義のあることです。

### 非核三原則とは？

非核三原則は、一九六七年度の佐藤栄作首相の国会答弁や七一年の衆院本会議決議によって「国是」として確立しました。

「核兵器を持ち込ませず」の原則は、「核兵器を作らず、持たず」の原則とともに非核三原則を構成し、「広島・長崎を繰り返すな」という日本国民の叫びを背景に、米軍による核持ち込みに反対するたたかいの高まりの中で生まれました。

ただ、非核三原則は「法制化」までには至っていません。「持たず、

### 滑川町非核平和都市宣言

戦争のない世界恒久平和と核兵器の廃絶は、人類共通の願望である。

わが国は、世界で唯一の核被爆国として、再びこの地球上に広島・長崎の惨禍を繰り返してはならない。そして、全世界の人々に対し、被爆者の苦しみと、核兵器の恐ろしさを訴えていかなければならない。私たち滑川町民は、美しい郷土、恵まれた

自然、豊かな生活と平和な未来を子どもたちに継承していくために、被爆70年の節目の年に際し、非核三原則（核兵器を持たず、作らず、持ちこませず）の堅持と恒久平和の実現を願い、ここに「非核平和都市」を宣言する。

作らず」については、日米原子力協力協定や、それを受けた国内法の原子力基本法および、国際原子力機関（IAEA）に加盟し、核拡散防止条約（NPT）等を批准したことによって法的にも禁止されてきましたが、「持ち込ませず」には、今も法的な拘束力はありません。

### 日米の「核持ち込み」密約と米軍基地強化

現実には、日本政府と米軍との間で、核の持ち込みを黙認する「密約」が取り交わされてきました。沖縄の返還時に、当時沖縄に現存していた核兵器を「日本周辺で極めて重大な緊急事態が生じた際に、事前協議のみで、米軍が沖縄へ核兵器を持ち込み、また嘉手納などの基地を核兵器貯蔵地として活用する」というものです。

また、日本への核持ち込みの危険は現実存在し続いています。米軍による核爆弾B61が搭載可能なB52爆撃機やF16戦闘機が全国の米軍基地への配備が強化されているのです。

### 「安保法制」のもとでの核兵器の持ち込みの危険

安倍政権は核の使用をさらに進めようとしています。二〇一四年、岸田外相は新たな核政策演説で

「核兵器の使用を個別的・集团的自衛権に基づく極限の状況に限定」すべきだと述べ、「集团的自衛権行使」の口実がつけば「極限状況」の名で核使用が許されるとの立場を示しました。昨年、安保法制が強行され核兵器の使用の危険が一段と高まってきています。

日本の基地に核兵器が貯蔵されれば、他国を脅威に陥れる。米海軍が核兵器を積んで日本に寄港するような「持ち込まれた核」も武力に他なりません。

持ち込まれた核により相手国を核攻撃の脅威にさらすことは、周辺諸国との緊張を高め、相手国に軍備増強や攻撃の口実を与えます。万が一、日本に「持ち込まれた核」が使われたら、暴力の連鎖の引き金を日本が引くことになるのです。

### 原発は核兵器への転用可

さらに、安倍政権は「原発」の輸出を安倍首相を先頭にセールスを行い核兵器への転用につながるかねない「ウラン濃縮や使用済み核燃料の再処理」の協定まで結んでいるのです。

「戦争のない世界恒久平和と核兵器の廃絶は、人類共通の願望である。：世界で唯一の核被爆国として、再びこの地球上に広島・長崎の惨禍を繰り返してはならない。そして全世界の人々に対し、被爆者の苦しみと、核兵器の恐ろしさを訴えていかなければならない。」この町の宣言を広く、住民に子どもたちに知らせ、戦争の危険性が高まる、現実を伝えなければと感じました。

### 横田基地 米軍C-130輸送機が町上空を旋回

#### 滑川上空は軍事訓練空域

2月4日に町の上空を軍用機2機が低空飛行で旋回していました。町に問い合わせたところ、防衛省北関東防衛局に連絡し「米軍機」が訓練していたことが分かりました。

平和委員会の話では滑川上空は横田基地の米軍のC130輸送機の訓練ルートになっているとのこと。

私たちが取り組んだアンケートでも一月に10回くらい自宅の上1回に5・6機2・3機も「非常にうるさい」「テレビにノイズが入る」「11月1・7・17・23日昼間、2時ごろ6機南の方へ飛び数回繰り返していた」「11・12月中旬まで3機編隊飛行が多かった」「夕方5時頃と日中は午後3時前後、滑川町上空・東松山上空」「7・23日昼間、2時ごろ6機南の方へ飛び数回繰り返し」など、苦情が寄せられています。

今後、オスプレイが横田基地に配備されることになれば町上空を飛ぶ可能性が高くなり、米軍の飛行訓練は日本を守るためでも平和のためでもありません。世界の紛争地域で戦争を行う、訓練です。「平和な町の上空を人殺し訓練に使わせるな」の声をあげていきたいと思います。